

第374憲兵中隊 兵器取扱い・戦術コースを主催 *374th SFS hosts Weapons Handling Skills and Tactics course*

September 7, 2018

By Senior Airman Juan Torres
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地で8月31日、第374憲兵中隊は部隊初の兵器取扱い・戦術コースを主催した。

同コースには空兵約30人が参加し、実際の有事の際に必要な技術を学んだ。

「防衛力の強化、チームワークの促進、前もって遠征作戦に馴染むこと、そして戦時に使用する可能性のある兵器システムを習熟することを目的としている」と第374憲兵中隊戦闘指導官ドン・サンディッジ軍曹は述べた。

2時間に及ぶコースで空兵らは、兵器の安全管理、構え、射撃、動き、コミュニケーション法、射撃陣地、M4とM9の移行、装填、援護射撃などについて学ぶ。

「専門分野を問わず全ての空兵が、小隊戦術、兵器取扱い手順の基礎、そして実際の脅威に立ち向かうために射撃班として任務を遂行することを理解しておくことは大事だ」とサンディッジ軍曹は述べた。

同コースは月に3回行われる予定だ。

